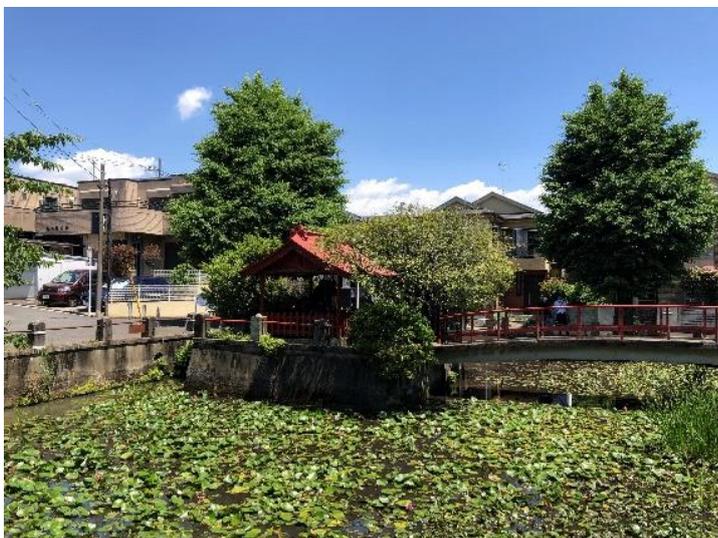


「横浜みどりアップ計画」地域緑のまちづくり

## 寺谷地区 地域緑化計画書

計画名：花と緑の寺谷計画

推進団体名：寺谷・花と緑の会



この地域緑化計画書は、公開します。



<p>計画期間</p>	<p>令和5年度 ～ 令和7年度</p>
<p>計画の目標</p>	<p>《提案計画の目標》  「花と緑あふれる笑顔のまちづくり」  唯一のオープンスペースである「弁天池」や「熊野神社」の緑化、飾花、地区内の古木の保全、地域全体での緑化活動により、花と緑と笑顔あふれる地域をめざす。</p> <p>&lt;具体的な目標&gt;  ①弁天池をはじめとする地域の拠点の緑化  地域の拠点となる場所の緑化を行い、地域の「へそ」、交流の拠点としていく。  ②景観木の保全  地域のシンボルでもある熊野神社、弁天池の古木を景観木として保全する。  ③花いっぱいの地域づくり  地区や通りごとに統一的な花や樹木で緑化をし、花と緑いっぱいの地域づくりを進める。(地植え、プランター、ハンギングバスケットなど)  ④緑化活動を通して地域の一体感や参加意識を高める  多くの住民が参加できるようにし、地域の一体感と参加意識を高める。活動を通して地域参加のきっかけをつくる。</p>
<p>目標達成のための方法および地域にもたらす効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊野神社と弁天池を緑化することにより、明るいイメージの創出、魅力度のアップに繋がり、誰もが立ち寄りやすい地域交流の拠点となる。</li> <li>・熊野神社周囲の森は地区に残された貴重な緑地で、シンボリックな古木を景観木として指定し保全することで、地区内に残された緑地保全の意識を啓発する。</li> <li>・境内の一部をグランドカバーや花壇等に変えることで管理しやすくなると同時に明るくなる。</li> <li>・境内では緑化活動と合わせて落ち葉での堆肥づくりを進め、その堆肥を活用して花苗の栽培にも取り組む。落ち葉の有効活用と共に、住民の緑化活動参加の拠点となる。</li> <li>・弁天池周辺の高木を景観木として保全することで地域共有のシンボルとなる。</li> <li>・池の周囲を緑化し花壇などをつくることで、住民が集う憩いの広場としての役割を取り戻すことができる。</li> <li>・講習会を通して緑化の知識、技術を啓発し、地域全体として質の高い緑化に繋げることができる。</li> <li>・地区や通りごとにシンボルとなる花や樹木で緑化することで、地域の特徴ができる。</li> <li>・住民による緑化活動や水やり管理等を通して、地域の一体感と参加意識が高まる。</li> </ul>

<p>組織づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の関連組織として位置付け、地域全体で取り組む体制とする。</li> <li>・日頃、自治会活動には積極的に参加していない住民も参加できるような、オープンな運営体制とする。</li> <li>・運営の中心となって活動するメンバーのほか、各戸のプランター等設置や拠点の水やりなどの活動に参加する協力会員（仮称）のような仕組みを設けて、広く参加を呼びかける。</li> <li>・自治会館を拠点として定期的な会合を開き、事業の進捗管理や情報共有を図る。</li> </ul>
<p>計画期間中の緑化整備及び活動の概要について</p>	<p>&lt;民有地緑化・景観木保全&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弁天池周辺を緑化する。周辺住民や地権者との調整によって、可能であれば直植え、難しい場合はコンテナなどによる緑化を行う。</li> <li>・池の周囲の古木、高木を景観木として指定し、適切な保全活動を行う。</li> <li>・熊野神社の参道や境内の緑化、生け垣、花壇等の整備を行う。また参道、境内の古木を景観木として指定し、適切な保全活動を行う。</li> <li>・自治会館の周囲に花壇またはプランター等で草花を植える。</li> <li>・エリアごとにシンボルとなる花や樹木を決めて、100件を目標に配置する。</li> </ul> <p>&lt;地域緑化活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業での緑化を維持管理し、延いては地域全体の緑化の質向上に繋げるため、住民の参加を広く募り園芸教室や樹木の適切な管理等を学べる講習会を開く。</li> <li>・熊野神社境内で落ち葉の堆肥づくりや花苗栽培などを行う。</li> <li>・本事業で整備予定の「緑の散歩コース(仮)」を中心とした緑マップを作り、誰もが参加できるウォークラリー等イベントを実施することでPR活動を行う。</li> <li>・ニュースレターを発行するとともに、SNSを活用して情報発信する。</li> </ul>
<p>計画期間終了後の活動について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会が継続して活動を支援する。</li> <li>・（公財）横浜市緑の協会に「よこはま緑の推進団体」の登録をし、花苗提供等の支援を受ける。</li> <li>・緑化活動についての情報発信を拡充する。講習会などの成果から住民の緑化への取り組みに役立つ情報を取りまとめてSNSなどで発信する。</li> <li>・活動を通して担い手を育成し、地区内の住宅の緑化、庭木の管理方法などを支援する仕組みを構築する。</li> <li>・オープンガーデンの実施を企画する。</li> <li>・熊野神社境内での落ち葉の堆肥化、花苗の栽培に取り組む。</li> </ul>
<p>資金計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点（弁天池、熊野神社、自治会館等）の整備については自治会の負担で行う。</li> <li>・住宅などの緑化については、住宅所有者等に対して一定の負担をしてもらう。</li> </ul>

計画年次	計 画 内 容
<b>1年度目</b> (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民有地緑化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弁天池の花壇、植栽柘緑化の設計、施工／</li> <li>・ 熊野神社の花壇、緑化の設計、施工</li> <li>・ 自治会館の花壇の設計、施工／</li> <li>・ 雨水タンクの設置</li> <li>・ 緑のスポット 100 作戦—エリアごとのシンボルフラワーや樹木の検討、緑化スポット(プランター、ハンギングバスケット、地植え等)の公募と設置 (30 件程度を想定)</li> </ul> </li> <li>○景観木保全               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観木の診断、調査、環境整備、治療(弁天池:桜 1, イチョウ 2、熊野神社:クスノキ 3)</li> </ul> </li> <li>○地域緑化活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報活動 (広報誌の発行、SNS 等での情報発信)</li> <li>・ 本事業の緑化維持管理のための園芸講習、庭木の手入れ講習</li> <li>・ 子どもからお年寄りまで参加できる本事業の PR イベントを企画</li> </ul> </li> </ul>
<b>2年度目</b> (令和6年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民有地緑化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弁天池の花壇、植栽柘緑化の設計、施工</li> <li>・ 熊野神社の花壇、生け垣、参道緑化の設計、施工</li> <li>・ 自治会館の花壇の設計、施工／</li> <li>・ 雨水タンクの設置</li> <li>・ 緑のスポット 100 作戦—エリアごとのシンボルフラワーや樹木の検討、緑化スポット(プランター、ハンギングバスケット、地植え等)の公募と設置 (40 件程度を想定)</li> </ul> </li> <li>○景観木保全               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観木の環境整備、治療</li> </ul> </li> <li>○地域緑化活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報活動 (広報誌の発行、SNS 等での情報発信)</li> <li>・ 本事業の緑化維持管理のための園芸講習、庭木の手入れ講習</li> <li>・ 子どもからお年寄りまで参加できる本事業の PR イベントを企画</li> <li>・ 弁天池、熊野神社、自治会館の整備済み緑地の管理</li> </ul> </li> </ul>
<b>3年度目</b> (令和7年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民有地緑化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑のスポット 100 作戦—エリアごとのシンボルフラワーや樹木の検討、緑化スポット(プランター、ハンギングバスケット、地植え等)の公募と設置 (30 件程度を想定)</li> </ul> </li> <li>○地域緑化活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報活動 (広報誌の発行、SNS 等での情報発信)</li> <li>・ 本事業の緑化維持管理のための園芸講習、庭木の手入れ講習 (緑のリーダー育成)</li> <li>・ 子どもからお年寄りまで参加できる本事業の PR イベントを企画</li> <li>・ 弁天池、熊野神社、自治会館の整備済み緑地の管理</li> </ul> </li> </ul>
<b>創意工夫</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープンスペースの緑化により住民に拠点としての認識を持ってもらい、防災や防犯に役立てる。</li> <li>・ エリアごとに異なる花を飾るなど、地域の特徴をつくる。</li> <li>・ 事業を通して住民の緑に対するスキルアップを図り、地域全体の緑化の質向上につなげる。活動を通じて緑のリーダーを育成する。</li> <li>・ 事業の推進を通して、住民の地域参加、まちづくりへの関心を高める工夫を凝らす。</li> </ul>



概算事業費（単位：千円）（注1,5）

助成項目	細目	1年度目（令和5年度）	2年度目（令和6年度）	3年度目（令和7年度）	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限	
1 民有地緑化	①設計等経費	1,000	500	0	1,500	100%以内	
		・弁天池の花壇の設計 ・熊野神社の花壇、緑化の設計 ・自治会館の花壇の設計 ・施工監理	・弁天池の花壇の設計 ・熊野神社の花壇、緑化の設計 ・自治会館の花壇の設計 ・施工監理				
	②緑化整備等経費 （注2）	4,200	5,760	900	10,860	90%以内	
		・弁天池の花壇、植栽柵の緑化、施工 ・熊野神社の花壇、緑化のの施工 ・自治会館の花壇の施工 ・地区内のスポット緑化（目標30件） ・雨水タンクの設置	・弁天池の花壇、植栽柵の緑化、施工 ・熊野神社の花壇、緑化の施工 ・自治会館の花壇の施工 ・地区内のスポット緑化（目標40件） ・雨水タンクの設置	・地区内のスポット緑化（目標30件）			
合計額 （注9）	概算事業費	5,200	6,260	900	12,360		
	（助成見込額）	（4,780）	（助成見込額） （5,684）	（助成見込額） （810）	（11,274）		
2 景観木保全	①調査費	300	0	0	300	100%以内	
	②診断書作成費	120	0	0	120	100%以内 （上限20千円/本）	
	③治療費	90	60	0	150	③と④は各景観 木1本につき、 合計50千円以内	100%以内 （上限50千円/ 本）
	④環境整備費	90	60	0	150		100%以内 （上限50千円/ 本）
	合計額 （注9）	概算事業費	600	120	0	720	
（助成見込額）		（600）	（助成見込額） （120）	（助成見込額） （0）	（720）		
3 地域緑化活動 （注3）	①維持・管理費	310	310	310	930	①～④の合計 1,000千円以内 /年度	100%以内
	②広報・研修費	600	600	600	1,800		100%以内
	③事務費	50	50	50	150		100%以内 （上限100千円/ 年度）
	④諸雑費	40	40	40	120		100%以内 （上限40千円/ 年度）
	合計額 （注9）	概算事業費	1,000	1,000	1,000	3,000	
（助成見込額）		（1,000）	（助成見込額） （1,000）	（助成見込額） （1,000）	（3,000）		
年度ごとの合計 （注4,6,7,8）	概算事業費	6,800	7,380	1,900	16,080	総合計	助成見込額の3年度の 総合計が15,000千円以内
	（助成見込額）	（6,380）	（助成見込額） （6,804）	（助成見込額） （1,810）	（14,994）		

（記入時の注意事項）注1：各細目には、提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費（予定金額）を記入してください。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）を記入してください。  
注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。）  
注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。  
注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は3年度で15,000千円が助成金額の上限となります。  
注5：千円単位で記入してください。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）  
注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。  
注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）  
注8：上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（2年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）  
注9：各項目内における細目の合計欄には、概算事業費（予定金額）と、助成見込額の合計を記入してください。なお、助成見込額には、（ ）を付けてください。